



# 地区支部だより

令和4年度 秋田県看護協会 横手地区支部

## 支部長あいさつ

春らしい陽ざしを感じるこの頃、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。  
会員の皆様には、日頃より地区支部活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

今年度も、新型コロナウイルスは終息の兆しが見えず、地区支部の事業は次々と中止になりました。そこで、今回は各施設での活動の一部を地区支部だよりにのせ紹介しております。紙面を通し、会員同士の理解が深まり、間接的な交流に繋がることを期待しております。

今後ともよろしく申し上げます。

地区支部長 佐藤やよい

## ～ 横手市 私たちの地域 ～



## ～ 令和4年度の活動を振り返って ～

### <出前授業>

日時：令和4年10月27日（木）13：20～14：20

場所：横手市立平鹿中学校

テーマ：「ふるさと秋田の医療を支えたい（看護師）」

講師：平鹿総合病院 看護部長 佐藤やよい

生徒80名を対象に講演しました。

#### 【学習のねらい】

看護師の仕事を知ることにより、働くことの意味や  
生きる意味を考え、進路に対する意識を高める

#### 【内容】

- 1, 私の職場を紹介します
- 2, 様々な役割（仕事 資格）があります
- 3, 看護師って？ 心と身体 いのちについて
- 4, 実践！脈を測ってみよう！
- 5, 私も看護師になれる？（大丈夫！）



### <ふれあい募金事業>

日時：令和4年10月6日（木）13：30～14：00

贈呈先：介護老人保健施設りんごの里福寿園 様

車椅子や移動用補助具を購入しました。



### <看護研究集録集作成>

発行：令和5年1月

演題：平鹿総合病院2題、市立横手病院2題、市立大森病院1題

講評：県立衛生看護学院 金子利恵先生、喜多尚子先生

送付先：各病院、個人会員様、県立衛生看護学院

コロナ禍のため、看護研究発表会は行わず集録集を作成しました。講評は県立衛生看護学院の金子利恵先生、喜多尚子先生に依頼し、各病院、個人会員様に送付しました。

## <市立横手病院>

### 「インターンシップ」

日時：令和4年8月5日（金）

場所：市立横手病院

対象：秋田県立横手清陵高等学院の学生7名

コロナの影響で病室で実際に患者さんに触れることはできませんでしたが、看護体験を通してさまざまな感想をもらいました。医療職を目指す学生と関わった職員も「患者さんのために」を第一に考え、初心に戻り、指導に携わり自分たちの看護を振り返る機会となりました。多くの学生から「助産師や、看護師になりたい」という声がきかれました。コロナ禍ではありますが、感染対策を十分に行いインターンシップを開催することができました。



- 急に止まったり、カーブの時に怖さを感じました。
- 段差があるところでは、「揺れますよ」と声かけをしたり、その都度声をかけることが大切だとわかりました。



- 患者の気持ちになってみると、移動するときに向きが分からず怖かったです。
- 怖さを感じさせないようにはどうすればよいかを考えさせられました。

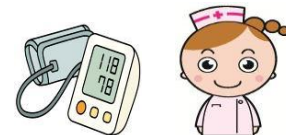




- 沐浴ではお湯の温度に気をつけ、耳にかからないようにしなければいけない、赤ちゃんの支え方にも気をつけなければいけないことが分かりました。
- 助産師の仕事は赤ちゃんを産む手伝いだけではなくて、出産後のお母さんの体調管理や、不安を少なくするようアドバイスすることがあるということを知りました。
- 赤ちゃんを洗う順番も教えてもらいました。目尻→顔→頭→体→腕→足、その後うつぶせにして背中、首を洗う。体験の時は人形だったけど、実際は泣いたり動いたりして大変そうだと思います。



- 一番楽しかったことは、自分の脈を聴診器で実際に聴くことでした。
- 血圧はきつく締めたら痛かったです。
- 今は自動血圧計で脈と血圧を測ってくれるけど、聴診器を使って血圧を測ることを初めて知りました。



- 医療の現場で実際に使われている道具を見て、触れることができて

良かった。



- ベッドメイキングではシーツ全体をピシッと伸ばすことを学びました。



## <平鹿総合病院>

### 「ほめ育」

看護部は「働きやすい職場を作る」を実践中！

その一環として「ほめ育」を取り入れています。

「ほめ育」とは、文字通りほめて育てる教育、できないことをできるように能力を引き出し成長させるための手段です。脳の特徴として、自分の事実と解釈の間に差があることを理解し焦点を当てます。次に看護部バリューを明確にし、事実を見つけてほめてあげる基準を作ります。基準に沿って叱ることもあります。そのうえで、ほめシート理論を活用します。年間パートナーを作り、文字にして「ほめ合う・ねぎらう・認め合う・感謝する」という心にプラスのシャワーを浴びるよう、パートナーへ「ほめシート・感謝シート」を届けています。



### 「ほめシート」

ほめシート  
2023年1月30日

ありがとう

頑張ったなあ〜すごいなあ〜評価が持てた

期待していること

### 「感謝シート」

絆を深める感謝シート  
2023年1月30日

- 感謝できること、謝ってもらっていること
- 褒めたい！賞賛したい！教えて欲しいこと
- 3年、目指していること、年、悩んでいること、抱負していること

ほめ育



### 「感染・安全研修」

コロナ禍でも日々の看護に必要な知識・情報を得るため、感染対策を行いながら状況に合わせて研修を行っております。集合研修は1回の人数制限をしながら複数回開催、さらにeラーニングを活用しながらの研修でした。

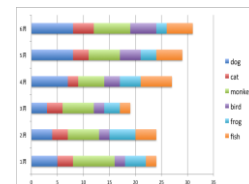
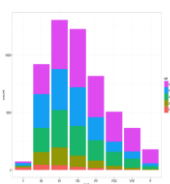
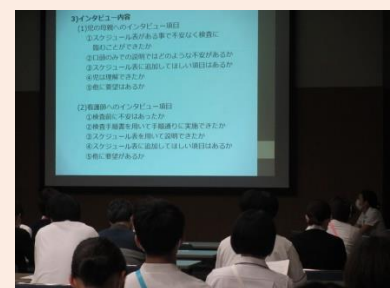
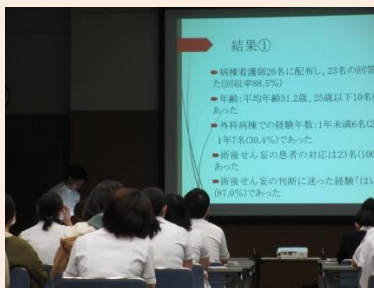


### 「看護研究発表会」

令和4年10月31日（月）7題の発表を行いました。

術後せん妄に対する看護ケアや看護の標準化に向けた取り組み、患者への生活指導や技術指導の実践、また、集中治療領域の経験が浅い看護師の抱える問題、認知症患者の意思決定支援など多岐に渡る内容でした。

研究的視点を持ち、看護実践することで看護の質向上につながる関わりができたのではないかと思います。



## ＜市立大森病院＞

今年もまた第7波・第8波と新型コロナウイルスとともにあっという間に過ぎてしまいました。

医療従事者として忍耐強く多くのストレスとも戦いながら乗り越えながら春の訪れを待っております。

### 「クリスマスプレゼント」

クリスマスに患者さんたちへわずかですがプレゼント🎁を届けました。  
みなさん笑顔になりました。



### 「横手市ハーフマラソン」

横手市ハーフマラソンの救護に参加させていただいたときの写真です。

野口みづきさんがゲストでいらしており、拝見したことのある横手市内の医療従事者の方々も参加されて、走っている清々しい姿に元気と感動をいただきました。



## <編集後記>

会員の皆様、いつも地区支部事業へのご支援本当にありがとうございます。

今年度も昨年同様コロナウイルスが猛威を振るい、各地域においてクラスター発生もあり、当支部においても計画していた事業が中止となる状況で、あっという間に1年が経過しました。

来年度に向け、会員の皆様の健康を祈りつつ、地区支部役員皆で with コロナでの事業のあり方・方法を再検討し、地区支部活動を通し会員の皆様や地域の方々に貢献できるよう今後も頑張っって参りたいと思っております。

来年度も引き続き、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

横手地区支部役員一同

## ～ 横手市の四季 ～

